

総合教育会議 部活動のあり方について

学校支援課

1. 部活動の位置づけと意義

中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第1章第5の1のウ

ウ 教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。

・部活動は、「教育課程外」の活動と位置づけられ、法令上、学校が設置、運営する義務とはされていません。しかし、生徒の多様な学びの場として教育的意義が大きいことから学校の教育活動の一環として計画、実施されています。

2. 本市の部活動の現状

〈資料1 別紙〉市内中学校の部活動一覧

- 平成30年3月【スポーツ庁】「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」
- 平成30年3月策定、平成31年3月改訂 【三重県】「三重県部活動ガイドライン」
- 平成28年11月22日策定 平成31年1月28日改訂 【桑名市】桑名市部活動ガイドライン

3. 本市の部活動における課題

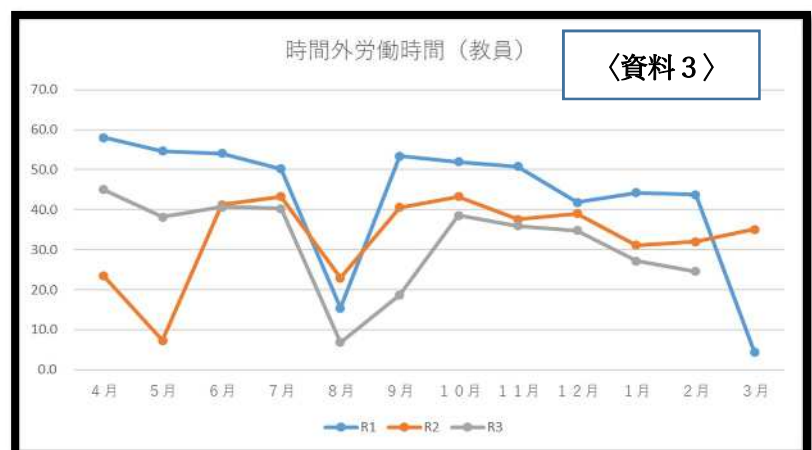
（1）教職員の多忙化

〈資料2 別紙〉部活担当者の仕事内容と1年間のスケジュール流れ

7月には夏の中体連、9月から10月にかけて、新人戦がおこなわれており、各校における部活動の時間も長いため、時間外労働時間が長くなっている一つの要因ではないかと考えられる。

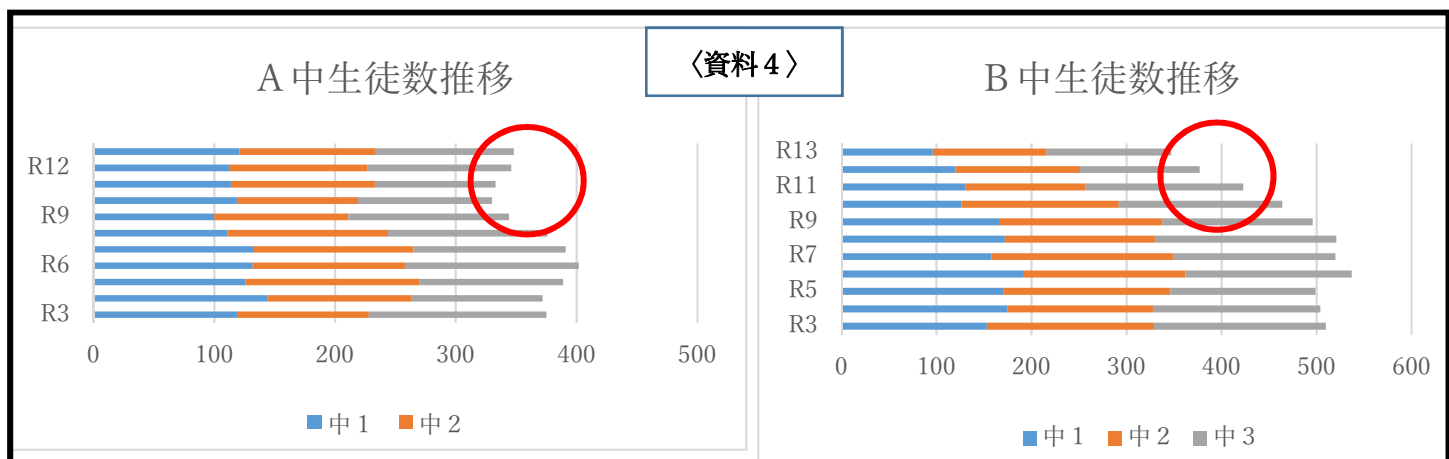
R3年度 時間外労働時間年間平均

中学校	31.9 時間
小学校	25.9 時間



- ・技術的に不慣れな部活動顧問をしなければいけないことがある。
- ・休日において、部活の練習だけでなく、大会運営も教職員に任されていることが多い。

(2) 生徒の少子化



年々、少子化が進むなか、各校の教員数も減少し、部員数も減少し、部活動数の精選をせざるを得ない状況がある。

A 中学校の事例

- ・少子化により、学級数・教員数が減。

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
標準学級数	17	17	17	14	13	13	13	12	12	11
教職員数	33	34	33	28	26	25	25	24	22	22

- ・令和3年度、各部2年生がほぼ部員数10人以下。
- ・今後、生徒数の減少に伴い、教員数が減となることが想定される。
- ・部活動精選のため、新入学生徒に入部希望調査を実施、2つ廃止にしていく方向で検討している。

(3) 保護者・生徒のニーズ

- ・部活動に対する保護者からの要望（部活動設置、指導内容）等。
- ・生徒のニーズにあった部活動（種目、指導内容）がない場合がある。
- ・大会や大会運営のため、休日も休息がとれない。

4. 休日部活動の段階的な移行について

(1) 国、県の動き

【国】

〈資料5〉学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について

【県】

- ・令和2年度より、年3回「部活動在り方検討委員会」を設置。
- ・県教育委員会と市町教育委員会が定例的に協議をする場の設定。
- ・部活動の地域移行に関わるモデル事業を実施。（地域運動部活動推進事業、地域文化部活動推進事業）

(2) 桑名市の段階的な取組

◆令和3年度

- ・近隣他市町との情報共有、県内視察。
- ・令和4年度「部活動在り方準備委員会」開催に向けての協議。

◆令和4年度

① 部活動在り方準備委員会の開催

〈資料6〉部活動在り方準備委員会について

② 部活動指導員の活用

- ・令和4年度、市内1名の任用予定、105時間（週3時間×35週）。
- ・市町、県、国が3分の1ずつ予算を負担する補助金事業。
- ・部活動顧問として、学校の部活動顧問がいなくても単独で指導ができ、大会引率ができる。

(3) 他市町の状況

〈資料7〉部活動地域移行に関わる取組

(4) 今後の課題

◆指導者の確保

- ・指導者を確保するための体制の構築（地域と連携した人材バンクの設置等）

◆予算

- ・部活動指導員を各校に配置するための予算確保。

◆大会の在り方

- ・中学校体育連盟との連携（中学校体育大会や新人体育大会のあり方）。
- ・休日における教員の大会運営への参加。

◆段階的な地域移行に関わる整備

- ・部活動が段階的に地域移行することについて、教職員、児童生徒・保護者・地域等への周知や理解。
- ・市内の受け皿の整備。（総合型スポーツクラブ、地域人材等）
- ・平日部活動と休日部活動の連携。

令和3年度桑名市部活動一覧

<資料1>

No.	競技名	成徳【9】				明正【12】				光風【10】				陽和【11】				正和【12】				陵成【13】				光陵【11】				多度【9】				長島【11】			
		男子	女子	顧問	外部	男子	女子	顧問	外部	男子	女子	顧問	外部	男子	女子	顧問	外部	男子	女子	顧問	外部	男子	女子	顧問	外部	男子	女子	顧問	外部	男子	女子	顧問	外部				
1	陸上競技	15	4	1		39	14	3	*1	45	35	2		33	19	3		37	23	3		51	33	3	1					19	20	3					
2	水泳競技					22	8	2	1	25	6	2		14	7	2	1	16	4	2		18	9	2		21	8	2					13	4	2		
3	バドミントン	18	18	3	*1	46	13	3		34	17	3	1	26	12	3	1	16	18	3		35	35	4		40	33	5		20	24	4	1	26	21	3	
4	サッカー	20	1	2		27	1	2		26	0	2	1	24	3	2		32	0	2		33	1	2		31	0	2		14	0	1		40	0	2	
5	ハンドボール																																				
6	軟式野球					26	0	2		23	0	2		11	0	2		9	0	1		33	0	2		21	1	3		31	1	3		20	0	2	
7	体操																																				
8	新体操																																				
9	バレーボール		13	2								2																									
10	ソフトテニス									14	14	3		22	21	3	*1	16	32	3	*1	38	42	4	2	0	29	2		36	36	3	*1	19	20	3	
11	卓球	12	6	2		27	18	2		20	13	2	1	25	23	3		35	30	3		39	0	2		49	44	5		29	10	2	*1	34	41	3	
12	バドミントン																																	0	11	1	
13	ソフトボール					0	15	2														0	28	2													
14	柔道	11	9	1																																	
15	剣道													12	12	2	*6	7	6	2		19	17	2	1												
16	テニス	11	13	3		40	28	3																		38	0	3									
17	美術部					7	20	1		1	23	2						4	29	1		5	36	2						0	27	1		11	13	1	
18	吹奏楽部	3	16	2		10	35	3		2	32	3	1	2	23	3		1	21	2	1	2	61	3		18	89	4		3	29	2		2	27	2	
19	家庭部					4	23	1																													
20	英語部																	1	9	1																	
21	科学部																					34	16	2													
22	グローバルカルチャー部													10	23	1																					
23	太鼓サークル																																				
24	文化部	5	17	1																						18	1	3									
25	自然科学部																																				
26	生活造形																									0	15	2									
合 計		95	97			248	214			190	169			179	177			174	192			307	326			236	254			152	173			168	157		
全校生徒数		203		474		383		387		383		383		387		383		366		679		679		524		524		355		355		356					
部活動加入数		192		462		359		356		359		359		356		366		633		633		490		490		325		325		325		325					
加入率		95%		97%		94%		92%		94%		96%		92%		96%		93%		94%		94%		94%		92%		92%		91%							

※【 】は部活動数。学校によっては、男女別にて活動している部活動がある。バスケット、ソフトテニス等。

※「部活動への配慮」の為、学区外通学をしている生徒は 令和3年度 市内で33名。

* の外部コーチについては、ボランティアもしくはPTAより謝礼のみ。他の外部コーチは部活動エキスパート（顧問の活動のもと、技術指導の支援）R3は部活動指導員はなし。

◆部活動エキスパート活用事業

- ・市が部活動と地域社会との連携を促進するために行う次の事業に要する経費を負担し、もって学校における部活動指導の充実を図ることを目的とし、実施。
- ・現在 17名 市内9校中8校において、教職員と連携して、指導にあたっている。

※謝金支給額は、指導者1人につき1回2,000円。年間20回

〈資料2〉

部活動担当者の仕事内容と1年間のスケジュールの流れ

部活動担当者の主な仕事

技術指導

- 練習メニューの立案 → 練習指導 → 練習の反省・練習試合、大会等による課題抽出
- 練習メニューの立案 → 練習指導 → 練習の反省・練習試合、大会等による課題抽出
- … スパイラル式に技術指導を行う。
- 効果的な体のケア（ストレッチ等）、体力作り（走り込み・体幹トレーニング等）の指導等

部活動エキスパート事業活用
技術的補助

仲間作り

- 生徒のコミュニケーション、関係づくり ○ミーティング ○エンカウンター ○生徒指導等案件の対応 ○リーダー育成

雑務

- 試合・大会等の計画、周知、移動手段計画 ○部費・交通費等の会計処理 ○練習試合・大会等の運営 ○保護者対応

主な年間予定

- 4、5月中体連春季大会
- 6月練習試合、リーグ戦、各種大会
- 7月中体連夏季大会（地区）
- 8月中体連地域、全国大会
- 9、10月中体連新人戦
- 11～3月練習試合、リーグ戦、各種大会

活動時間

平日：2時間
休日：練習… 3時間
試合… 待機時間や審判等で1日中もある。
大会… 待機時間や審判等で1日中もある。
（生徒の活動時間は3時間以内）

部活動終了時刻は
夏季で18:00
冬季で16:30
と日照時間を目安に
各校にて決められている。
土日の部活動については
特別勤務手当を支給

休日例（サッカー部）

7:30～会場準備
9:00～ 9:30 試合準備
9:30～10:30 試合
11:30～12:30 審判
13:30～14:00 試合準備
14:00～15:00 試合
15:00～16:00 片付け

桑名市部活動ガイドライン 各校の「部活動指導方針」をもとにした学校組織としての部活動を実施

- ・生徒の自主的、自発的な活動を柱とした部活動
- ・練習時間平日2時間、土日・休日3時間程度とし、休養日については、週2日、土日いずれか1日を設定する。

〈資料5〉学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要



部活動の意義と課題

- ✓ 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた**人間形成の機会**や、**多様な生徒が活躍できる場**である。
- ✓ 一方、これまで部活動は**教師による献身的な勤務**の下で成り立ってきたが、休日を含め、**長時間勤務の要因**であることや、**指導経験のない教師にとって多大な負担**であるとともに、**生徒にとっては望ましい指導を受けられない**場合が生じる。
- ✓ 中教審答申や給特法の国会審議において「**部活動を学校単位から地域単位の取組とする**」旨が指摘されている。

持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

改革の方向性

- ◆ **部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務**であることを踏まえ、**部活動改革の第一歩**として、休日に教科指導を行わないことと同様に、**休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境**を構築
- ◆ 部活動の指導を希望する教師は、引き続き**休日に指導を行うことができる仕組み**を構築
- ◆ 生徒の活動機会を確保するため、**休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境**を整備

具体的な方策

I. 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- **休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保**
（育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用）
- **保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援**
- **拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開**

II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との**合同部活動の推進**
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となる**ICT活用の推進**
- 主に**地方大会の在り方の整理**（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）

※ 以上の取組は、主として中学校を対象とし、高等学校においても同様の考え方を基に取組を実施。

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革のスケジュール



	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)～
国	部活動指導員の配置支援				
	地域スポーツ・文化環境の整備の推進			部活動改革の全国展開 ● 休日の部活動の段階的な地域移行 【休日の部活動の指導を望まない教師が部活動に従事しない環境の構築】	
	教師の兼職兼業に関する整理				
	地域部活動・合同部活動を推進するための実践研究の実施 (保護者の費用負担、自治体の減免措置等、国による支援方策の検討を含む)				
都道府県・市町村	活動時間の適正化の推進				
	地域スポーツ・文化環境の整備の推進				
	教師の兼職兼業による地域部活動への参画				
学校体育団体・競技団体・文化芸術団体	地方大会の実態把握	地方大会の在り方の整理			生徒にとって望ましい合理的な地方大会の推進
学校の働き方改革関連	給特法一部改正	給特法施行	教員勤務実態調査	調査結果を踏まえた給特法改正の検討	
	超勤上限指針の策定・運用				

別添3

〈資料6〉

桑名市部活動在り方検討準備委員会実施について

1. 目的

令和5年度、桑名市の中学校における部活動（スポーツ、文化、科学等に関する教育活動）の適正な運営の推進を検討する委員会設置に関わる検討をおこなう。

2. 準備委員会における検討事項

- (1) 令和5年度からの段階的な地域型部活動に向けての研修
 - ・部活動在り方検討委員会設置に関わる検討（内規、構成委員、スケジュール等）
- (2) 地域移行に関わる桑名市の状況把握。
 - ・市内における総合型スポーツクラブ、市内各種目団体の状況。（人材確保も含める）
 - ・市内中学校の部活動の状況把握。
- (3) 次年度に向けた部活動指導員の活用について。
 - ・部活動指導員の任用に関わる内規作成。
 - ・部活動指導員の配置による「費用負担の在り方」「連携・協力体制の構築」等の検討。

3. 準備委員会構成

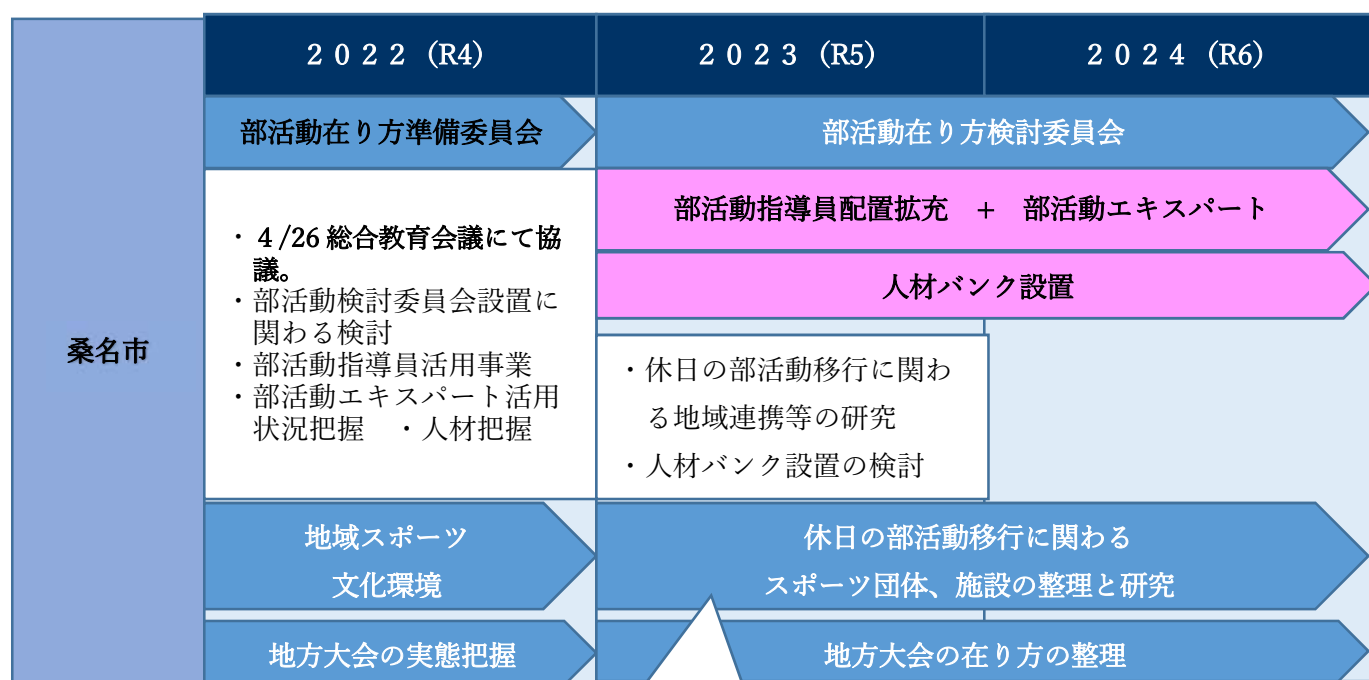
- ・桑名市中学校校長会（桑員地区中学校体育連盟の代表者）
- ・桑名市中学校校長会（文科系部活動の代表者）
- ・教職員 代表者
- ・桑名市スポーツ協会
- ・生涯学習スポーツ課
- ・学校支援課 課長
- ・学校支援課 生徒指導係（事務局）
- ・学校支援課 事務担当

※上記にあげる者の他、協議・検討内容に応じて、設定する。

4. 会議について（予定）

※構成委員参加の会議は年4回。上記以外に臨時委員会として、事務局と関係機関等の査察、打ち合わせ等をおこなう。

桑名市部活動に関わるスケジュール(案)



中体連
地方大会の位置づけ

総合型スポーツクラブ

- ・NPO 法人ヴァイアティン三重
- ・スポーツステーション多度
- ・TAF スポミンクラブ

地域移行に関わる事例

令和 2 年 10 月 27 日(火)【中日夕刊】休日部活地域に完全移行

岐阜県羽島市竹鼻中学校

全ての運動部の土日、祝日の活動を廃止。
地域のスポーツクラブに委ねる



四日市市部活動の在り方に関わる取組

1. 令和 2 年度より、部活動在り方検討委員会の実施。

「部活動指導員」「部活動協力員」を市の事業にて配置。

2. 総合型地域スポーツクラブと中学校部活動との連携

総合型スポーツクラブ「くすぽ」と楠中学校との連携について

R3年度

野球部、陸上部、卓球部、美術創作部の 4 部活に指導員を配置。

R4年度

運動部全ての部活（6 部活）で連携

